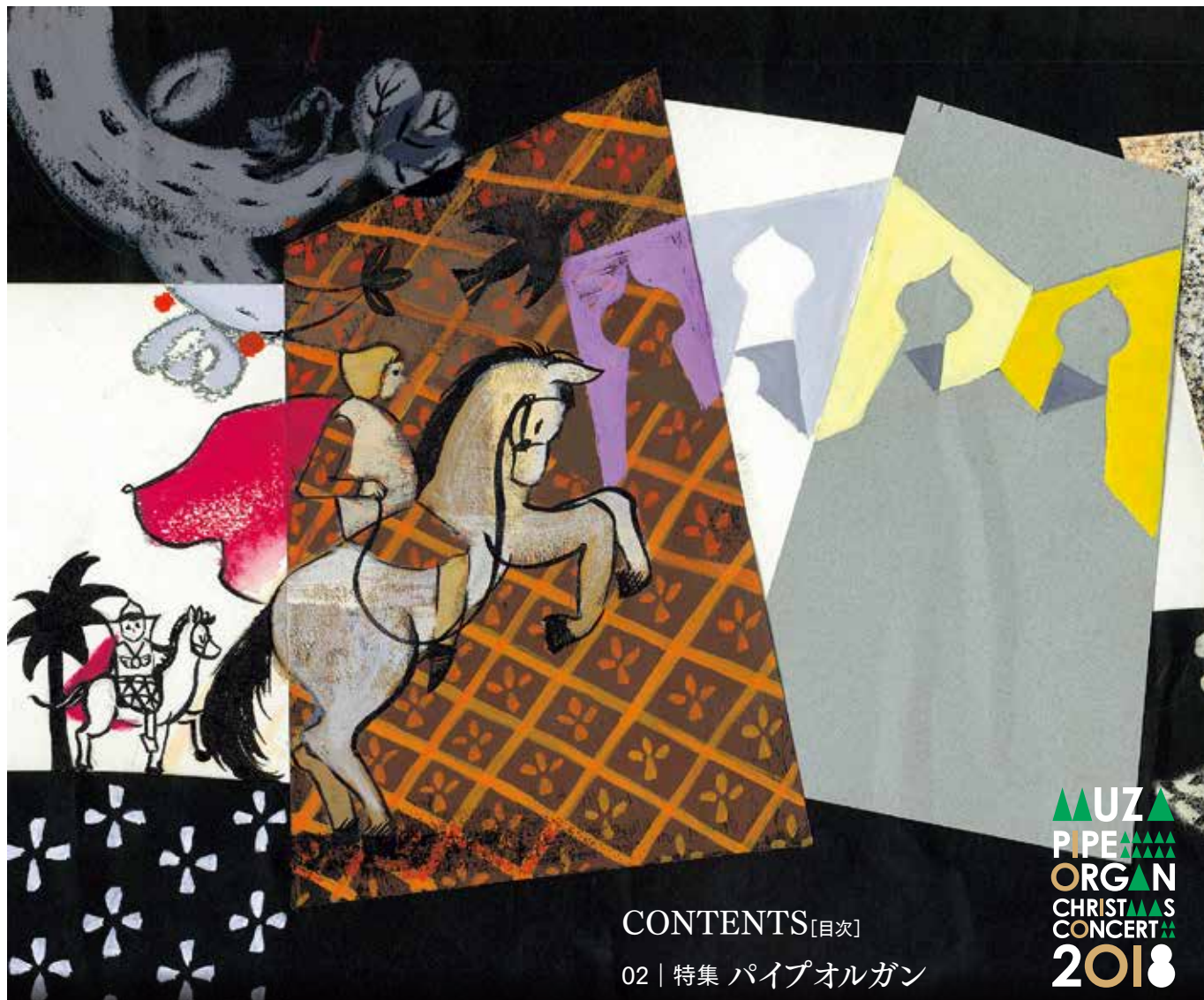


かわさき アートニュース

Vol. **270**
2018年12月号

THE KAWASAKI FOUNDATION



▲▲UZ▲▲
PIPE
ORGAN
CHRISTMAS
CONCERT
2018

CONTENTS [目次]

02 | 特集 パイプオルガン

クリスマス・コンサート2018

オルガンの可能性を引き出すために

インタビュー: 松居直美さん(パイプオルガニスト)

04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

10 | 美術 市内ギャラリー情報

13 | 演劇 アルテリオ小劇場

14 | 映画 アルテリオ映像館

09 | 特集 カワサキ ロミオ&ジュリエット



UZ PIPE ORGAN CHRISTMAS CONCERT 2018

パイプオルガン クリスマス・コンサート2018

～朗読劇でハートウォーミングなひとときを

オルガンの可能性を引き出すために

インタビュー／松居直美さん(パイプオルガニスト)

毎年お楽しみなミュージア川崎シンフォニーホールのクリスマス企画。

今年は「言葉」×「音楽」、「ミュージア川崎シンフォニーホール」×「SPAC(静岡県舞台芸術センター)」と、見逃せないコラボレーションが光る「クリスマス朗読劇」をお届けします。

企画者であるミュージアホールアドバイザー・松居直美さんは、日本にオルガンの響きを広めたパイオニアの一人です。コンサートについてはもちろん、日本のオルガンの歴史、今、そして未来についてお話を伺いました。

降り注いだ未知の音

——オルガンに出会われたきっかけを教えてください。

クリスチャンの両親に連れられて、私も小さい頃から教会へ通っていました。中学生のとき、教会がパイプオルガンを導入し、初めてその音色を聴きました。礼拝堂の上のギャラリーに設置されたものですから、音が上から降ってきたんですね。日常にない音で強いインパクトがあり「あれを弾いてみたい!」と感激したのを覚えています。ピアノもやっていましたが、あまり好きじゃなくて(笑)もしその経験が無かったら、違う人生に進んでいたでしょう。たまたまその教会でオルガンのレッスンが行われていたのですぐに申し込み、高校卒業後は音楽大学のオルガン科へ進みました。

パイプオルガンブーム

——日本では、NHKホールとサントリーホールが、普及のきっかけになったそうですね。



NHKホールのパイプオルガン完成(1973年)も大きな出来事でしたが、大衆がさらにコンサートに押し寄せるようになったのはサントリーホール開館(1986年)以降です。バブルの時代、おしゃれなホールで音楽を聴き、近くのホテルでお食事をするという流れは、まさにクラシックブームを作りました。このブームを期に日本中の県庁所在地にパイプオルガン付きのコンサートホールが建てられ、パイプオルガンが一気に増えました。

一方で、オルガニストはまだ少なかった。私の学生時代は教会くらいにしか楽器がなかったので、弾き手は牧師のお嬢さんなどキリスト教関係者がほとんどでした。インターネットが普及していなかったことも要因の一つだと思います。パイプオルガンがどこにあるのか、ヨーロッパにはどんな先生がいるのかなど、情報を集めるのにとても苦労しましたからね。有難いことに、私はオルガンが増えた頃に留学から帰ってきましたので、たまたま需要と供給が合ったという感じでした。

ミュージアの優れたパイプオルガン

——ミュージアのパイプオルガンは、組み立て段階から松居さんに携わっていたきました。

ミュージアのパイプオルガンは総合的にとても良い楽器です。まず、国際的な指揮者が口を揃えておっしゃるように空間自体のクオリティーが高い。また、空間が大きいので楽器も大きく、パイプの数すなわち音色の数も沢山あります。パイプオルガンはよく「一台でオーケストラ」と例えられますが、ミュージアには小指の先ほどのパイプから、人が中に入れるほどのパイプまでありますので、ささやくような音から重厚な音からまで、表現の幅が非常に広い。さらに、世界

的に定評のある「スイスの職人」が寸分狂わず作った楽器という点でも、信頼度と安定感が高いですね。

ひと味違う企画を創る

——これまでホールアドバイザーとして様々な企画をされていますが、新しいコンセプトや手間のかかった創意工夫が素晴らしいですね。

アドバイザー企画は「通り一遍のコンサートとは違うことができれば」という想いでやっています。それを助けてくれるミュージア事業課の皆さんの「一緒に面白い若々しさ」は、ミュージアの大きな力だと思いますね。

昨年まで4回続けてきた『オルガンの未来へ』というシリーズは、いろいろな日本人作曲家にmade in japanのオルガンの新曲を作ってもらったのがコンセプトの一つでした。日本はもともとオルガンが無かった国なので、作曲家の皆さんにオルガンをもっと知って、レパートリーを作っていただきたくて。現代曲は「よく分からない」と思われがちですが、お客様に面白がっていただけたことは、とても印象的でしたし嬉しかったですね。

『オルガン講座』という市民交流室での企画は開館当時から続けていただけていますが、一からパイプオルガンを作るという設定で職人さんと対談を行ったこともあります。オルガンは、歴史的に教会という権威ある場にあったため、当時の社会や政治が色濃く反映されている。社会学的、建築学的、絵画的といった多様なアプローチができますので、そうした興味をお持ちのお客様も多かったですね。

ヨーロッパが日本の啓蒙法を学ぶ!? 日本が秘める可能性

——パイプオルガンのレパートリーは「宗

プロフィール

松居直美 Naomi Matsui

国立音楽大学オルガン科、同大学院修了。西ドイツ国立フライブルク音楽大学演奏家コース卒業。

第21回ブダペスト国際音楽コンクール等多くのコンクールで優勝。2001年文化庁海外特別派遣生としてオランダへ留学。リサイタル、国内外のオーケストラとの共演等、その活動は多岐に渡る。1986年CDデビュー後、ソニー・レコードやカメラータ・トウキョウ他より多数のCDをリリース。2013年「J.S.バッハ:ライプツィヒ・コラール集」で文化庁芸術祭レコード部門優秀賞。1993年より所沢市民文化センター、2004年よりミュージア川崎シンフォニーホールのアドバイザーとして、オルガンの企画、啓蒙活動にも積極的に取り組む。その功績が認められ、平成26年度下総院一音楽賞(音楽文化貢献部門)受賞。

現在、日本キリスト教団小金井教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。聖徳大学音楽学部教授。



ミュージアム川崎シンフォニーホールのパイプオルガン全体像



演奏の様子



10月に絵本化された『もう一人の博士』（新教出版社）より

教曲」のイメージが大きいので、「現代曲」と聞くと興味が湧きますね！

そう、皆さん恐らくその通りだと思うんです。ヨーロッパだとしても「教会の楽器」という枠がありますので、「こんなこともできる」という未知の可能性を引き出す土壌は、日本にこそあると思っています。

さらに、ここ数十年ヨーロッパでは、若者の教会離れが進んでいます。オルガンに親しむ機会が無くなったり、弾き手が減ったり、問題が出てきているんです。そこでいま、参考にされているのが日本です。日本には「パイプオルガンはこんな楽器です」と一生懸命啓蒙をしないと始まらなかった経緯がありますので、啓蒙の仕方を聞かれることが増えていますね。時代は大きく動いています。枠が崩れつつある今、日本のホールというニュートラルな空間にあるパイプオルガンは、大きな可能性を持っていると言えるでしょう。

言葉と音楽で彩るクリスマス

——今回のコンサートは、俳優2名、ソプラノ1名、パイプオルガン1名による朗読劇です。企画意図をお聞かせください。

私は演奏するときいつも「どうやって音楽に語らせよう」ということを考えています。「言葉」と「音楽」は、その起こりから深く関係し合っており、例えば日本の声明（しょうみょう）や西洋のグレゴリオ聖歌は、節回しをつけて歌い、語りますよね。それはただ読んでいるときよりも人の心に届く。言葉から音楽を、音楽から言葉を感じ取る、お客様にもそんな体験していただきたいと思い、双方がコラボレーションできる朗読劇にしました。

ミュージアム×SPACのコラボ 演劇界のマエストロ監修

——コンサートを監修するSPAC・静岡県舞台芸術センターの芸術総監督・宮城聡（さとし）さんは、2018-2020東京芸術祭総合ディレクターなども務めていらっしゃる、日本を代表する演出家です。SPAC（スパック）と聞いたら演劇ファンもたまらないのではないのでしょうか。

以前から宮城さんのなさっていることが斬新で面白いと思っており、今回お願いさ

せていただきました。古いものと現代的なものとの融合は得意でいらっしゃるの、「観て、聴いて、体験できる」新しい朗読劇になるはずですよ。

聖書の外伝を現代演劇的に

——朗読劇『もう一人の博士』のあらすじは？

原作は、古くからアメリカなどでクリスマス劇として親しまれている名作です。ベツレヘムにイエスキリストが誕生するとき「3人の博士が東方から星を追いかけて、生まれたばかりのイエスさまに会いました」というのは聖書にもある有名なお話ですが、そこから派生した物語『もう一人の博士』は、4人目の博士を描いています。彼は33年も遅刻してしまい、キリストはすでに十字架に磔にされていたという劇的な結末を迎えるのですが、遅刻には切実な理由がありました…というのがあらすじです。今回のコンサートは、宮城さんたちが現代演劇的に構成・演出をしてくださいます。聖書の世界とはまた違う、我々にも届くような物語を、私自身とても楽しみにしています！

心温まるひとときを

——具体的な見どころやお客さんへのメッセージをお願いします。

物語の所々に音楽がリンクし、内容を色づけます。例えば『暁の星のいと美しきかな』という曲は、博士たちを導いた星にちなんで選びました。作曲家の松岡あさひさんには、今回のために新曲を作っていただきます。ソプラノの鈴木美紀子さんはとても透き通った美しい声の持ち主なので、ミュージアムで綺麗に響く歌も楽しみです。SPACの俳優さんによる朗読劇は、演技や動きもあります。そもそもミュージアムの空間はすり鉢状で面白いですよ、そこも上手く使った演出にご期待ください。博士たちは馬に乗って旅をするので、馬も、本物ではないですが登場するかもしれません、どうぞ楽しみに（笑）

ミュージアムのクリスマス・コンサートは、いわゆるクリスマスメドレーをやるようなコンサートではなく、ミュージアムならではの、ちょっとキラリとするようなハートウォーミングなものです。クリスマスですから、皆様にはそんな時間を過ごして、きっと寒いでしょうから温まって帰っていただけるといいなと思います。

オルガンの未来へ

——最後に、ご自身の今後についてお聞かせください。

勉強に終わりはないです。古い楽譜が発見されたり、最新技術で古いオルガンの仕組みが解明されたり。何より、この道の先にある景色を見るために、これからも歩み続けたいですね。

もちろん若い世代のサポートもしたいです。オルガンはアナログな楽器で、手入れをすれば何百年と長持ちしますが、弾く人、聴く人がいなければだめになってしまいます。次の世代へ引き継いでいくために、私の経験から少しでも力になれることを、ライフワークとして続けていきたいと思っています。

公演概要

Information

ホールアドバイザー 松居直美企画

ミュージアムパイプオルガン クリスマス・コンサート2018

～言葉と音楽で彩るファンタジー～

ヴァン・ダイクのクリスマス朗読劇

『もう一人の博士』

[日時]2018.12.22(土)

14:00開演(13:30開場)

[会場]ミュージアム川崎シンフォニーホール

オルガン:松居直美

ソプラノ:鈴木美紀子 作曲・編曲:松岡あさひ

俳優:奥野晃士、宮城聡(さとし)

(SPAC・静岡県舞台芸術センター所属)

監修:宮城聡(SPAC・静岡県舞台芸術センター所属)

構成・演出:大岡 淳(SPAC・静岡県舞台芸術センター所属)

原作:ヘンリー・ヴァン・ダイク(訳:岡田 尚 新教出版社刊)

♪J.S.バッハ:

「高き天よりわれらは来たれり」によるカノン風変奏曲より

♪D.グスタフ・フーデ: 暁の星のいと美しきかな

♪B.ブリテン: 鳥たち

♪J.ラター: ある木に咲いた花

♪松岡あさひ: アルタバンI、II、III、IV

好評
発売中

[チケット]

全席指定3,500円 U25(小学生～25歳)1,000円



鈴木美紀子



松岡あさひ



奥野晃士



宮城聡



大岡 淳



宮城聡

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集第144回

2016年欧州でウェルザー＝メスト、チョン・ミョンフンの代役として指揮、いずれの公演でも大成功をおさめたヴィオッティは名曲全集2度目の登場となります。父親(マルチェッロ)の才能を譲り受けた若きマエストロによる壮大華麗なレクイエムをお楽しみください。



森谷真理 (撮影 高橋 剛)



清水華澄 ©Takashi Matsuno



福井 敬



リアン・リ ©Martin Sigmund

[日時] 2019年1月13日(日)14:00開演

[出演] 指揮:ロレンツォ・ヴィオッティ
ソプラノ:森谷真理、メゾ・ソプラノ:清水華澄、テノール:福井 敬
バス:リアン・リ
合唱:東響コーラス 合唱指揮:安藤常光

[曲目] ヴェルディ:レクイエム

[チケット] S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円
当日学生席1,000円(要問合せ)

ロレンツォ・ヴィオッティ

MUZAジルベスターコンサート2018
絢爛豪華な大晦日!

[日時] 2018年12月31日(月)15:00開演

[出演] 指揮:秋山和慶
ヴォーカル:福井晶一、吉沢梨絵、笠松はる、上原理生
管弦楽:東京交響楽団
コーラス:昭和音楽大学、洗足学園音楽大学
演出:原 純 他

[曲目] 1部では1年を振り返るクラシックの名曲をオーケストラで、
2部では珠玉のミュージカル・ナンバーをお届けします。
J.シュトラウスⅡ:喜歌劇「こうもり」より序曲
「レ・ミゼラブル」「グレイテスト・ショーマン」「マンマ・ミーア」「オペラ座の怪人」他

[チケット] S席完売 A席6,000円(僅少) B席5,000円 C席4,000円 U25(小学生~25歳)各席種半額



福井晶一



吉沢梨絵



笠松はる



上原理生

2019年1月15日~6月30日 ミューザ川崎シンフォニーホール休館のお知らせ
上記期間中、音楽ホールは改修工事のため休館いたします。

期間中は、一部公演を「カルッツかわさき」に移動して開催するほか、
市民交流室でのレクチャー & コンサート、川崎市内での特別コンサート等を企画中です。どうぞお楽しみに。

(注)音楽工房(市民交流室、企画展示室、会議室、研修室、練習室)は改修期間中もこれまで同様ご利用いただけます。

施設利用に関するお問合せ:044-520-0300(9:00~19:00)

2019年1月14日「月・祝」 16時開演（15時30分開場）

出演 オルガン…大木麻理、梅干野安未、石丸由佳、三原麻里

『ロバートブリッジ写本』から エスタンピー

G. ガブリエリ…カンツォンから

F. メンデルスゾーン…オルガン・ソナタ 第5番 作品60・5

J. S. バッハ…パッサカリア BWV 582

モーツァルト／廣野嗣雄…オペラ『魔笛』序曲

Ch. M. ヴェイドール…交響曲第9番『ゴシツク』作品70から

第2楽章 アンダンテ・ソステヌート

J. アラン…リタニー

C. V. アルカン…ボンバルド・カリヨン

O. メシアン…『主の降誕（オルガンのための9つの瞑想）』から

第1曲「聖母と御子」

T. エスケシユ…エヴオカシオンII

シメオン・テン・ホルト…カント・オステイナート（抜粋）

ほか

4人のオルガニストが紡ぐ明日への響き

祝祭のオステイナート

チケット（税込）全席指定 2,500円（2,250円） U 25（小学生～25歳以下）…1,000円 ※（ ）内は友の会会員料金
友の会会員先行 9月10日（月） W.o.B会員先行 9月13日（木） 一般発売 9月19日（水）

会場・お問合せ…ミューザ川崎シンフォニーホール TEL 044-520-0200

主催…ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）



©Mari Kusakari
大木麻理



梅干野安未



©Naoko Nagasawa
石丸由佳



三原麻里

12月 2018年

ミュージア川崎
シンフォニーホール
MUZA Kawasaki Symphony Hall Concert Calendar

コンサートカレンダー

「12月の催し」

*チケット料金、残席情報等は
各公演のお問い合わせ先まで
お尋ねください。

1 土
15:00開演

第9回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2018

昭和音楽大学(指揮:齊藤一郎) 国立音楽大学(指揮:現田茂夫) 洗足学園音楽大学(指揮:秋山和慶)
リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェラザード」〔昭和〕/チャイコフスキー:交響曲第5番 小短調〔国立〕/バルトーク:管弦楽のための協奏曲〔洗足〕

全席指定 ¥1,000

※通し券3,000円(ミュージア川崎シンフォニーホール、東京芸術劇場で窓口販売及び電話予約、前売販売のみの取扱い。)

お問合せ

MUZA

チケット

2 日
13:30開演

お茶の水管弦楽団 第103回定期演奏会

指揮:河地良智
グリーグ:序曲「秋に」/リスト:交響詩「レ・プレリュード」/シベリウス:交響曲第2番 二長調

全席自由 事前申込なら無料、当日券は¥800

お問合せ

お茶の水管弦楽団 広報係 080-9544-7530

7 金
18:30開演

東京交響楽団 歌劇「フィガロの結婚」(演奏会形式)

指揮/ハンマーフリーゲル:ジョナサン・ノット 演出監修/バルトロ/アントニオ:アラステア・ミルズ フィガロ:マルクス・ウェルバ
バスザン:リディア・トイシャー アルマヴィーヴァ伯爵:アシュリー・リッチズ アルマヴィーヴァ伯爵夫人:ミア・パーション ケルビーノ:ジュルジータ・アダモナイト
マルチェリーナ:ジェニファー・ラーモア パルバリーナ:ローラ・インコ バジリオ/ドン・クルツィオ:アンジェロ・ボラック 合唱:新国立劇場合唱団
モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」(演奏会形式/全4幕/日本語字幕付き)

⑤¥13,000 ④¥10,000

③¥7,000 ②¥5,000

お問合せ

MUZA

友

東響

チケット

8 土
公演予定

9 日
公演予定



11 火
12:10開演

MUZAランチタイムコンサート12月 東京交響楽団 プレゼンツ バリチューアンサンブル

東京交響楽団 プレゼンツ バリチューアンサンブル(ユーフォニアム:新井秀昇、牛渡克之 チューバ:大塚哲也、渡辺 功)
バッハ:フーガの技法 BWV1080 より コントラプункトゥスIX /マルティノ:ファンタジー/クリスマスメドレー(三宅一徳編)/シューベルト:軍隊行進曲 他

全席自由 ¥500

お問合せ

MUZA

チケット

11 火
19:00開演

MUZAナイトコンサート60 東京交響楽団 プレゼンツ バリチューアンサンブル

東京交響楽団 プレゼンツ バリチューアンサンブル(ユーフォニアム:新井秀昇、牛渡克之 チューバ:大塚哲也、渡辺 功)
バッハ:ファンタジア/ブーラ:セレスティアル組曲/クリスマスメドレー(三宅一徳編)/シューベルト:軍隊行進曲 他

SS指定席 ¥2,000/自由席 ¥1,000

お問合せ

MUZA

友

チケット

※友の会割引はSS指定席のみ

15 土
13:30開演

ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2018後期

「ベートーヴェン4大ソナタ」アスデル・ラーマン・エル＝バシャ ピアノ・リサイタル

《オール・ベートーヴェン・プログラム》 ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」/ピアノ・ソナタ第14番「月光」/ピアノ・ソナタ第21番「ワルシュタイン」/ピアノ・ソナタ第23番「熱情」

全席指定 一般 ¥3,900/舞台後方席 ¥2,500

お問合せ

神奈川芸術協会 045-453-5080 友 チケット

15 土
19:00開演

オーケストラギフト 第3回演奏会

指揮:小山照夫
ラフマニノフ:交響曲第2番小短調/チャイコフスキー:序曲「1812年」

全席自由 入場無料

お問合せ

オーケストラギフト広報 gift.kouhou@gmail.com

16 日
14:00開演

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第143回

指揮:ジョナサン・ノット フルート:甲藤さち(東京交響楽団首席奏者)
ヴァレーズ:密度21.5 (無伴奏フルートのための)/ヴァレーズ:アメリカ(1927年改訂版)/R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」

全席指定 ⑤¥7,000 ④¥6,000 ③¥4,000
②¥3,000 当日学生券 ¥1,000 ※要問合せ

お問合せ

MUZA

友

東響

チケット

19 水
公演予定

20 木
19:00開演

中央大学管弦楽団第80回記念演奏会

指揮:佐藤寿一
マーラー:交響曲第5番 嬰ハ短調/ドヴォルザーク:交響詩「真昼の魔女」

全席自由 ¥1,000

お問合せ

総務 竹内 080-4913-7803 チケット

22 土
14:00開演

MUZAバイスオルガン クリスマス・コンサート2018

～言葉と音楽で彩るファンタジー～ヴァン・ダイクのクリスマス朗読劇「もう一人の博士」

オルガン:松居直美 ソプラノ:鈴木美紀子 俳優:奥野晃士、宮城嶋遥加(SPAC-静岡県舞台芸術センター所属) 作曲・編曲:松岡あさひ
監修:宮城嶋遥加(SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術監督) 構成・演出:大岡淳(SPAC-静岡県舞台芸術センター所属) 原作:ヘンリー・ヴァン・ダイク(訳:岡田尚 新教出版社刊)
D.ブクステフーデ:暁の星のいと美しきかな/B.ブリテン:鳥たち/J.ラター:ある木に咲いた花/松岡あさひ:新曲初演 他

全席指定 ¥3,500/U25(小学生～25歳) ¥1,000

お問合せ

MUZA

友

チケット

23 日祝
14:00開演

第30回記念 2018かわさき市民第九コンサート

指揮:秋山和慶 管弦楽:かわさき市民オーケストラ2018 ソプラノ:廣田美穂 メゾソプラノ:吉田郁恵 テノール:井上了吏 バリトン:折江忠道 合唱:2018かわさき市民第九合唱団
ワーグナー:歌劇「タンホイザー」より 大行進曲/ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調「合唱付」

全席指定 ⑤¥2,000 ④¥1,500 ③¥1,000

お問合せ

2018かわさき市民第九コンサート
実行委員会 090-2751-8477 チケット

24 月曜
13:30開演

フィルハーモニック・ソサイエティ・東京 第5回定期演奏会

指揮:寺岡清高 ソプラノ:半田美和子 アルト:谷口隆美 管弦楽:フィルハーモニック・ソサイエティ・東京 合唱:東京アカデミッシュカペレ、フィルハーモニック・ソサイエティ・東京合唱団 合唱指揮者:浅井隆仁
モーツァルト:交響曲第40番 小短調/マーラー:交響曲第2番 ハ短調「復活」

全席指定 ¥1,500

お問合せ

フィルハーモニック・ソサイエティ・東京
050-3395-6410 チケット

28 金
19:00開演

横浜市立大学管弦楽団 第49回定期演奏会

指揮:田尻真高 管弦楽:横浜市立大学管弦楽団
ドヴォルザーク:序曲謝肉祭/ドヴォルザーク:交響詩「英雄の歌」/ブラームス:交響曲3番 長調

全席指定 ¥500

お問合せ

横浜市立大学渉外係 080-5184-2747
yju-orch.451@ezweb.ne.jp

31 月
15:00開演

MUZAジルベスターコンサート2018 絢爛豪華な大晦日!

指揮:秋山和慶 ヴォーカル:福井晶一、吉沢梨絵、笠松はる、上原理生 コーラス:昭和音楽大学、洗足学園音楽大学 管弦楽:東京交響楽団 演出:原 純 他
【第1部】スッペ:『軽騎兵』序曲/ハチャトゥリアン:組曲「仮面舞踏会」よりワルツ/J.シュトラウスⅡ:喜歌劇「こもり」序曲
【第2部】『マイ・フェア・レディ』より「踊り明かそう」/『美女と野獣』より「愛せぬならば」/『ノートルダムの鐘』より「神よ 弱きものを救いたまえ」/
『ママ・ミーア!』より「音楽をありがとう」/『グレイテスト・ショーマン』より「This Is Me」/『レ・ミゼラブル』より「星よ」/『彼を擲て』『民衆の歌(エピソード)』 他

全席指定 ⑤¥7,000 ④¥6,000 ③¥5,000
②¥4,000 U25(小学生～25歳) 各席種半額

お問合せ

MUZA

友

東響

チケット

MUZA

マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミュージア川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意がございます(一部、例外のある公演もございます)。

東響

マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。

チケット

マークの付いた公演は、ミュージア川崎シンフォニーホール・チケットセンターにてお取り扱いしております。

友 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます。(セット券を除く) 残席状況はお問合せ下さい。売切れの際はご容赦下さい。

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ: ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00)

ミュージア川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅中央西口直結

ミュージア

検索

詳しくはミュージア
webページをご覧ください。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。12月29日(土)～1月3日(木)

江戸時代の粋に遊ぶ その35 「端唄」

粋な音色と遊び心。細棹三味線の“いま”を伝える小意気なお座敷唄の舞台をお楽しみください！

日時：12月8日(土)14時(13時30分開場) 料金：1,500円 定員：100名(自由席・事前予約不要)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室 出演：山本ゆきの、このう紫

山本ゆきの

細棹三味線を主とし、古典～現代曲までジャンルにとらわれない幅広い演奏と作曲活動を行い、独自のスタイルで三味線音楽を発信している。ビクター邦楽技能育英賞を受賞。NHK邦楽オーディション合格。全国邦楽コンクール優秀賞。慶応義塾大学国文学科卒業。東宝映画「舞妓Haaaaan!!!」、日テレ連続ドラマ「Dr.倫太郎」他、出演や音楽制作協力多数。

気軽に楽しむ古典ライブ「お座敷唄 ゆきのの会」は毎年好評開催中。2018年5月、全オリジナル曲にて「三味線山本ゆきのリサイタル」開催。(銀座ヤマハホール)2017年中井智弥(二十五絃箏)と、お座敷唄エンターテインメントユニット「MARU-YA」を結成。8月に1STアルバム『OZASHIKIuta〜4Seasons〜』を発売。2018年元旦 NHK Eテレ「すごいぞ! ばっかん古典芸能最新形」に出演。海外公演も行う。女三味線弾き「ねのいろ」代表。音緒乃会主宰。

山本ゆきののホームページ <http://yukino.kazekusa.jp/>



このう紫

札幌市生まれ。中学より長唄を今藤長三四氏に師事。現代曲・お座敷唄(小唄・端唄・俗曲)を山本ゆきのの氏に師事。現代邦楽研究所卒業。女子美術大学大学院・修士課程美術研究科修了。財団法人地域創造の邦楽活性化事業を通じ結成した三味線弾きトリオ「三味線なでしこ」メンバーとして学校公演・音楽イベント等に出演。「紫の會」毎年開催中。映画、ミュージックビデオ出演、国内・海外にてコンサート、ライブ活動を行う。音緒乃会所属。女三味線弾き「ねのいろ」メンバー。現在は札幌と東京を拠点に活動。札幌市内にて「細棹三味線研究会」開講。人間の内部に深く浸透する音を追求し、三味線の魅力を広く発信する。オフィシャルサイト <http://www.konoyukari.com/>



初音家左橋 師匠

第11回 お昼の落語

今回は特別に真打の登場です。お楽しみに。

日時：12月19日(水)14時(13時30分開場) 料金：1,000円

定員：100名(自由席・事前予約不要) 会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：初音家左橋 師匠、柳家寿伴(前座)

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。

旅人の衣装を着て記念撮影もできます。

展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示

があります。

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

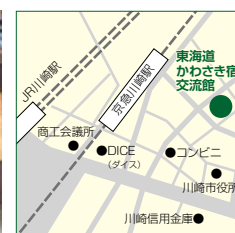
〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、

JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



川崎アイeyeセンター

冬のジャズコンサート

神奈川・東京のライブハウス、各種イベントで活動中の、ジャズユニット“STEPS(ステップス)”の登場です。女性ボーカリスト、ピアノ、ベース、テナー・サクソ、ギター、フリューゲルホルン、ドラムスの7人編成のコンボで、多彩な音色でスタンダードナンバーやボサノバなどを演奏します。

ジャズ音楽に包まれる素敵なライブ演奏をたっぷりとお楽しみください。

[日時] 12月8日(土)午後1時30分～午後3時

[会場] ふれあいプラザかわさき2階ホール(川崎市川崎区堤根34-15 京浜急行線八丁畷駅徒歩5分・JR川崎駅徒歩15分)

[入場費] 無料(事前予約不要)

[演奏曲] 「マイファニー・ヴァレンタイン」「ザ・クリスマス・ソング」ほか ※曲目変更の可能性がございます。

[お問い合わせ] 川崎市視覚障害者情報文化センター(愛称：川崎アイeyeセンター) 電話044-222-1611



第10回 お昼の落語



ようやくあの暑さから逃れた9月半ば、いいお天気だったこともあり満員御礼でした。

まず初めに前座の桃月庵(とうげつあん)ひしもちさん。桃月庵白酒さんのお弟子さんです。噺は『転失気』でした。飄々とした雰囲気良かったと思います。続いては、二つ目の柳家わさびさん。笑点の若手大喜利などテレビに出ている方でファンもたくさんいました。噺は『釜泥』。石川五右衛門と言ったらこの落語。釜を盗まれないように酒を飲みながら見張りをするおじいさんと泥棒2人組が見どころでした。

プレゼントコーナーの色紙ジャンケンをし、幕間。その後は、再びわさびさんの登場。『紺屋高尾』を演じてくださいました。テンポよく流暢にしゃべり、聞いていて楽しかったです。話し終わったあと、拍手がしばらく鳴りやまず!こんなことはなかなかなかったので、改めて今勢いのある二つ目だと思いました。

今回は、12月19日(水)14時からです。お楽しみに。

(9月19日 東海道かわさき宿交流館)

ホールアドバイザー小川典子企画 ドビュッシー没後100年 記念ピアノ・リサイタル



2018年に没後100年を迎えたドビュッシーの曲のみを聴かせる「オール・ドビュッシー・プログラム」で、事前に行われた関連レクチャー講座では、対談した青柳いづみこ氏から「これ全部お弾きになるの」と驚かれるほどのボリューム。人気の高い映像 第2集より「金色の魚」、前奏曲集より「沈める寺」他、ピアノ1台とはとても思えない、色彩感豊かなドビュッシーの音世界がホールいっぱいに響きわたりました。アンコールには「月の光」と、まさに満腹、大満足のドビュッシー三昧を堪能することができました。

(9月29日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

パラアート推進モデル事業 「わたしいろの ダンスワークショップ」

パラアート推進モデル事業の一環として、「障がいの有無や世代、国の垣根を超えて楽しむことができる」ダンスワークショップを実施しました。コンテンポラリーダンサー・平



原慎太郎さんリードのもと、親子連れや障がいのある方など約40名の皆さんが、3コースに分かれて様々な身体表現を楽しみました。

例えば、ペアになって手を合わせ、相手の力を感じ取る遊びでは、押したり引いたり、掛け合いが面白く、高度になると手を少し離れた状態でも反応できるように。また、みんなで輪になってポーズを伝達していく遊びでは、誰かが個性あるポーズを生み出すと「お〜!」と歓声が挙がっていました。

初対面同士でも身体でコミュニケーションが取れていたことや、正解のないアイデアを面白がり、互いを認め合う場が生まれていたことが印象的でした。カルッツかわさきでは今後もダンスワークショップを予定、詳細はカルッツかわさきまでお問い合わせください。

(10月7日 カルッツかわさき)

第7回川崎郷土・市民劇 『日本民家園ものがたり』 出演者オーディション



昨年の『南武線誕生物語』の大好評が記憶に新しい「川崎郷土・市民劇」。次回の『日本民家園ものがたり』上演に向けて、出演者オーディションがありました。

今回取り組むのは「川崎にふるさをつくろう!」と日本民家園の誕生に尽力した方々を描くお話なので、参加者の皆さんには応募動機に加え、「ふるさとへの想い」を語っていただきました。また、声などを確認するために古典文学作品の朗読もありました。脚本家の小川信夫さん、演出家の鈴木龍男さんを始め、市内外からお集まりいただいた約35名の皆さんによる劇は2019年5月10~12日(場所:多摩市民館)、18~19日(エポックなかはら)上演予定、チケット発売は12月15日(土)開始です。どうぞご期待ください。

(10月12日 中原市民館)

江戸の粋に遊ぶシリーズ その34 「水芸」



「水芸」は去年に引き続き、2回目でした。奇術協会のスタッフさんは、朝早くからせり出し舞台を作ったり、天井や床が濡れない

よう丁寧にビニールシートで覆ったりと、汗をかきながら準備をしていました。

第一部は、「和妻(日本マジック)と洋妻(西洋マジック)の違い」がテーマ。江戸時代から続く和妻では、和紙、刀、紐、玉子などを使いながら「連理の曲」、「夫婦引き出し」、「柱抜き」、「袖玉子」、「南京玉すだれ」を披露。繊細で情緒豊かな雰囲気があり、所作も綺麗でした。特に「柱抜き」は日本近代奇術の祖・松旭斎天一(しょうきょくさいてんいち)の得意技でした。その弟子・松旭斎天勝(てんかつ)という女性は、「水芸」が得意だったといえます。洋妻ではテレビでよく見る「鳩、ロープ、カード、リングを使ったマジック」を披露。大胆で華麗な演出は見ごたえ充分でした。

第二部はナッツ淳さんによる金魚を使ったマジック。空の紙袋からなぜか本物の金魚が釣れるという……。最後はいよいよ葉月美香さん、和田奈月さん、KYOKOさんによる水芸。日本舞踊を習っているので所作が美しく、特に手の動きが綺麗でした。

今回は、12月8日(土)14時から「端唄(はうた)」を行います。お楽しみに。

(10月20日 東海道かわさき宿交流館)

第10回 狂言全集



「今参」 撮影:神田佳明

「人間の悲しさ、おかしさ、愚かしさ。狂言の哲学がここにある。」をテーマに、現代に残る狂言約200番の中から、主だったものをお届けしていくシリーズ。今回取り上げたのは『今参(いままいり)』『因幡堂(いなばどう)』『狐塚(きつねづか)』でした。

上演後は人間国宝・山本東次郎さんによる解説もありました。例えば『今参』は就活になぞらえて、「表面を取り繕っても失敗し、本来持っていた芸で主人と意気投合できた」と紹介。「狂言は、実は一言一言大事なことを言っている。その点と点をつなげて見ていただければ」と、狂言の奥深さも教えてくださいました。質疑応答では「「～です」という台詞があった。現代語に変えている?」という質問に対し、「狂言の“です”は、“にてそうろう”などが簡略化したもので現代のものと異なる。言葉を分かりやすく変えることはしないようにしている」と回答。満員の客席は顔しながら聞き入っていました。

【お客様の声より】

- 川崎市に能楽堂のあることを知らずにおりました。とっても近くで観られてうれしいです。東次郎先生の若々しさに元気をいただきました。(50代/女性)
- 説明をしてくださって「謎が解けて」面白みが倍増しました。また行きたいと思います。(70代/女性)

(10月27日 川崎能楽堂)



ラゾーナ川崎プラザソル開館12周年記念公演 カワサキ ロミオ&ジュリエット

JR川崎駅に隣接する大型商業施設、ラゾーナ川崎プラザ5階に位置する多目的ホール「ラゾーナ川崎プラザソル」が、開館12周年を迎えました。毎年、周年記念に演劇公演を企画しており、昨年は1700名以上が来場しました。

今年は12月に『ロミオとジュリエット(シェイクスピア作)』を上演します。オーディションで選ばれた俳優陣と、演出には県立川崎高校演劇部の卒業生を中心に結成された演劇集団「カワサキアリス」の演出家で、昨年、「利賀演劇人コンクール」で優秀賞を受賞したAshさんを迎えました。

演出を務めるAshさんと、ロミオ役の中嶋尊望さん、ジュリエット役の瑞生桜子さん、鈴木千晴さん、オリジナル登場人物であるナッキー役の松下奈津希さんにお話をうかがいました。



左からAshさん、中嶋さん、瑞生さん、鈴木さん、松下さん

本邦初公開！ 川崎版『ロミオ&ジュリエット』

——今回上演する『ロミオ&ジュリエット』は、川崎を舞台に脚色されたそうですね。

Ash: 川崎は、「川崎南北問題」と言われているように、富や貧困が偏在し、同時に国籍・民族の軋轢や世代間のギャップも存在する、現代社会の縮図のような都市です。今回、誰もが知る『ロミオとジュリエット』という戯曲で、川崎の街に内在する問題をあぶりだすことにチャレンジしたいと思いました。

シェイクスピアの原作を今回、私自身で翻訳し、さらにそれを脚色して、ここにしかない物語を作ることには挑戦しています。劇中には、現在の川崎で流行っているラップミュージックや、ブレイクダンスも登場します。川崎から世界と渡り合える舞台を発信したいと思います。

——今回は主演を含むすべてのキャストをオーディションで募ったそうですが、どんな俳優が揃いましたか。

Ash: 地元・川崎出身の俳優以外にも、県内、都内などから様々な経歴の俳優が集まりました。私は、俳優たちが川崎市内の稽古場に通う中で川崎を発見していくプロセスも大事だと思っています。演劇は時と場所を限定する特殊なメディアなので、その特徴を生かして出来ることがあると考えています。

また、オーディションを通じて知的障害者

専門の芸能プロダクションに所属する松下さんと出会いました。障害を乗り越えて、他の人に元気や勇気を与えたいという彼女の夢に心動かされ、作品の創作の元にもなっています。

——稽古の様子はいかがですか。

Ash: 今回の稽古には、私がとても影響を受けた、ある俳優訓練法を取り入れています。俳優は「人に非ず」と書きますが、身体に集中することで一旦自我を切り離し、そこに新しいキャラクターを入れる有効な方法です。

松下: Ashさんはとても優しくて、一つ一つの動きについてどういう意味があるのかを分かりやすく、丁寧に教えてくれます。

鈴木: 自発的に考え自分で発信していかなければならない稽古なので、深層心理の深いところに残ります。

瑞生: 立稽古に入るまでは、皆で色んな翻訳本を読んで作品について徹底的に話し合いました。色んな出自の俳優がいるので、お互いを理解し合うのにすごく良かったと思います。

中嶋: 稽古は遊び心を持って楽しんでやっています。Ashさん演出は新しく斬新なので、ご期待ください！

二つの結末

——公演の見どころや意気込みをお聞かせください。

中嶋: 自分自身がシェイクスピア作品を演じるのは二回目ですが、この脚本は純粋に楽しめるので、きっとお客さんにも楽しんでいただけたと思います。

瑞生: 演じるのが夢だったジュリエット役をいただけて光栄です。この作品はアンドロイドやSFが出てくる未来の話ですが、初めて脚本を読んだときには衝撃を受けました。川崎市にお住まいの方なら、クスッと笑ってもらえるポイントが沢山あると思います。

鈴木: 私は生まれも育ちも川崎で、県立川

崎高校の演劇部出身です。川崎で演じられることがすごく嬉しいです。愛に溢れたこの作品を、今まで演劇を見たことのない人にも見ていただき、川崎に沢山の愛が満ちたら嬉しいです。

松下: 私は、辛いことや嫌なことがあったときに劇や舞台を観て元気になれるので、自分も元気をあげたいと思います。ナッキーは、お客さんを笑わせることが出来る役なので、お客さんに沢山笑ってもらいたいです。

Ash: 今回は二つの組に分けて上演しますが、私が書いた台本には結末が書いてありません。稽古を積み重ねていく上でどこに行きつか、俳優の皆が決めます。二つの組で全く違うエンディングになると思いますので、ぜひ両方の組を観ていただきたいですね。

公演概要

Information

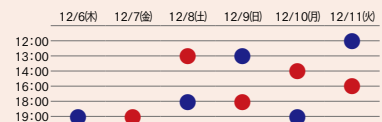
ラゾーナ川崎プラザソル開館12周年記念公演 『カワサキ ロミオ&ジュリエット』

原作/W.シェイクスピア 翻訳・脚色・演出/Ash

【キャスト】

- (緑組) 中嶋尊望・瑞生桜子・松下奈津希 ほか
- (紅組) 橋本昭博・鈴木千晴・松下奈津希 ほか

【公演日程】2018.12.6(木)~11(火)



【会場】ラゾーナ川崎プラザソル

(JR川崎駅西口直結ラゾーナ川崎プラザ5階)

【チケット料金】※当日券 各500円UP

一般前売 4,000円/川崎市民割引 3,800円/
大学生・専門学生 3,000円/高校生以下2,000円/
緑組セット(前売予約のみ・2公演ご覧になれます)7,600円

【チケット取扱】

●カンフェティ(一般券のみ)

https://www.confetti-web.com/kawasaki_RJ

●ラゾーナ川崎プラザソル

チケット窓口(10:00~20:00)

電話予約 044-874-8501

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2018.12

		1 Sat	2 Sun	3 Mon	4 Tue	5 Wed	6 Thu	7 Fri	8 Sat	9 Sun	10 Mon	11 Tue	12 Wed	13 Thu	14 Fri	15 Sat	16 Sun	17 Mon	18 Tue	19 Wed	20 Thu	21 Fri	22 Sat	23 Sun	24 Mon	25 Tue	26 Wed	27 Thu	28 Fri	29 Sat	30 Sun	31 Mon																													
アートガーデンかわさき<川崎区> 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日 12月28日(金)～1月4日(金)	第1展示室				須山会100人展 12月4日(火)～9日(日)																																																								
	第2展示室	堀野書道学校 第10回選抜展 11月27日(火) ～12月2日(日)			木美会展 12月4日(火)～9日(日)																川崎市障害者作品展 12月19日(水)～23日(日・祝)																																								
	第3展示室				JFE京浜陶芸部 第31回作品展 12月4日(火)～9日(日)																																																								
川崎市教育文化会館市民ギャラリー<川崎区> 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)		川崎区社協福祉まつり 11月29日(木)～12月6日(木)																																																											
幸市民館市民ギャラリー<幸区> 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)																																								「かわさき子どもの権利の日のつどい」 情報コーナー 12月15日(土)																					
中原市民館市民ギャラリー<中原区> 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)		写真友の会写真展 花に誘われて 11月30日(金)～12月5日(水)						多摩川フォトクラブ 第2回写真展 12月7日(金)～12日(水)						中原陶芸研究会 作陶展 12月14日(金)～19日(水)※17日休館						ロス・アミーゴス X'masで(de)マスク展 12月21日(金)～24日(月・振休)																																									
川崎市市民ミュージアム<中原区> 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 12月29日(土)～1月3日(木)		有料ビッグコミック50周年展(2F企画展示室2) 11月10日(土)～2019年1月14日(月・祝) 観覧料:一般800円、65歳以上・大学生・高校生600円、中学生以下無料																																																											
		2018川崎フロンターレ展(2Fアートギャラリー1・2・3) 12月15日(土)～2019年1月14日(月・祝) 観覧料:無料(※一部エリアは2019年度川崎 フロンターレ後援会会員限定となります)																																																											
高津市民館市民ギャラリー<高津区> 高津区溝口1-4-1 ノグチ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)		高津みづえ会水彩画展 12月1日(土)～12月5日(水)						第35回かわさき市民芸術祭 こども芸術祭 12月7日(金)～12日(水)						川崎の子ども版画展 12月15日(土)～18日(火)※17日休館						障害者作品展 12月21日(金)～26日(水)																																									
宮前市民館市民ギャラリー<宮前区> 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)		宮前デッサン会作品展 11月30日(金)～12月5日(水)						宮前区青少年指導員会 青少年作品展 12月8日(土)～9日(日)						宮前パステル会作品展 12月14日(金)～19日(水)※17日休館						みやまえ江戸古文書を読む会 忍者の末裔…古文書作品展 12月21日(金)～26日(水)																																									
多摩市民館市民ギャラリー<多摩区> 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)		おりづるの会 折り紙制作品の展示 11月30日(金)～12月5日(水)						ボケ〇写真クラブ写真展 12月7日(金)～12日(水)						ピアチューレ 布草履・はな小屋作品展 12月14日(金)～19日(水) ※15日、17日休館						多摩みづる会水彩画展 12月21日(金)～26日(水)																																									
川崎市岡本太郎美術館<多摩区> 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館) 12月25日(火)、12月29日(土)～1月3日(木)		有料企画展「イサム・ノグチと岡本太郎 –越境者たちの日本」展 10月6日(土)～2019年1月14日(月・祝) 観覧料:一般1,000円、高・大学生・65歳以上 800円、中学生以下無料																																																											
麻生市民館市民ギャラリー<麻生区> 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日) 12月29日(土)～1月3日(木)		青の会山口台作品展 11月30日(金)～12月5日(水) ※3日休館						第11回竹心会書展 12月7日(金)～9日(日)						かわさきふれあい作品展 12月14日(金)～19日(水)※17日休館						彩(水彩画) 12月21日(金)～26日(水)																																									

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／11月10日(土)～2019年1月14日(月・祝)

ビッグコミック50周年展

マンガを子どものためのものから、大人も楽しめるものへ。「大人のためのコミック誌」という未踏の領域を開拓した雑誌『ビッグコミック』の創刊50周年を記念し、誌面を飾った名作の数々と半世紀の歴史を一望します。

観覧料金等

- 会場：2F企画展示室2
- 観覧料：一般800円(640円)、65歳以上・大学生・高校生600円(480円)、中学生以下無料
- ※()内は20名以上の団体料金です。
- ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。



「空母いぶき」
©かわぐちかいじ、恵谷浩

〈関連イベント〉

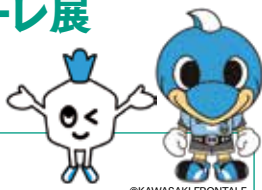
■ギャラリーツアー

- 参加を希望される方は、当日直接会場へお越しください(※要観覧券)。
- 12月8日(土) 14:00～
 - 会場：2F企画展示室2

企画展／12月15日(土)～2019年1月14日(月・祝)

2018川崎フロンターレ展

今シーズンの川崎フロンターレの活躍、オフィシャルカメラマンによる試合写真や映像、選手ゆかりの資料等で振り返ります!



©KAWASAKI FRONTALE

観覧料金等

- 会場：2Fアートギャラリー1・2・3
- 観覧料：無料
- ※一部エリアは2019年度川崎フロンターレ後援会会員限定となります

〈関連イベント〉

■アトリエ体験講座(フロンターレ編) ●日時：12月15日(土)

■クリスマスワークショップ ●日時：12月22日(土)

■ふろん太&カブレラ来館 ●日時：12月23日(日・祝)、24日(月・振休)

*その他毎年大人気の「ゲーフラ(応援旗)づくり」をはじめ、新たなイベントも鋭意企画中!
*時間や詳細は後日HPでお知らせします。

映画上映／1F映像ホール

新藤兼人特集

～開館30周年記念・所蔵作品名品集～

開館30周年を記念し、所蔵作品を取り上げます。この秋は、1950年に日本の独立プロダクションの先駆者である「近代映画協会」を設立し、自由な表現を追求しながら精力的に作品を作り続けた新藤兼人監督作より、計10作品を上映します。



「母」

上映日・料金等

- 上映日：10月6日(土)～12月9日(日)の土日 11:00～14:00～
- ※ただし、10月27日(土)・28日(日)、11月3日(土・祝)・4日(日)・24日(土)・25日(日)は休映
- 料金：1プログラムにつき 一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円
- ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

●12月の上映作品

『讃歌』、『心』、『裸の十九才』、『狼』、『どぶ』、『人間』、『原爆の子』、『母』
※上映スケジュールはHPまたはお電話でお問い合わせください。

ファミリー上映会



©Filmkompaniet / Filmoteka Narodowa / Jupiter Film / Moomin Characters TM

冬休みに親子で楽しめるアニメーション映画を上映します。原案・構成を手塚治虫、宮崎駿の動画制作初参加作品でもある『わんわん忠臣蔵』と、原作者トーベ・ヤンソン自ら監修したTVシリーズの劇場版『劇場版 ムーミン谷の彗星 パベット・アニメーション 日本語吹替版』の2作品です。

中学生以下は無料でご覧いただけます。

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、清の口駅ノクティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、翌火曜休)
12月29日(土)～2019年1月3日(木)
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展／2018年10月6日(土)～2019年1月14日(月・祝)

「イサム・ノグチと岡本太郎
ー越境者たちの日本」展

イサム・ノグチと岡本太郎は、1950年、日本アヴァンギャルド美術家クラブの主催により東中野のレストラン「モナミ」で開催されたイサム・ノグチの歓迎会において、初めて出会いました。彫刻家として世界的に活躍したイサム・ノグチと、青年期の10年間でパリで活躍しながらも大戦の為に日本に戻り引き裂かれ、日本の芸術界を異邦人としての眼で見ることができた岡本太郎は、それぞれに欧米で芸術家として活躍し始め、越境者として日本文化を見つめ、新たな表現活動を展開しました。同世代の二人の個性豊かな芸術家が日本の美術に触発されて制作した作品は、共に戦後の芸術界に大きな影響を及ぼしました。



1954年4月1日イサム・ノグチと岡本太郎
北鎌倉夢境庵



イサム・ノグチ「あかり」1953～
香川県立ミュージアム蔵
©The Noguchi Museum / ARS - JASPAR

本企画展は、イサム・ノグチと岡本太郎という個性の異なる二人の越境者の作品を通して、「日本」あるいは「日本美」とは何かについて再確認するための機会として開催します。

観覧料金等

- 料 金：一般1,000(800)円、高校・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下は無料
- ※()は20名以上の団体料金
- 休館日：月曜日(10月8日、12月24日、1月14日を除く)、10月10日、12月25日、12月29日～1月3日

〈その他イベント〉

◆じゅえき太郎と冬でもムシトリ!

TARO賞入選作家であり、『昆虫戯画』や『ゆるふわ昆虫図鑑』で話題の「じゅえき太郎」さんとオリジナル昆虫を作って、じゅえき太郎さんの作品と一緒に展示しよう!

- 日時：12月1日(土)13:30～
- 対象：小学3年生～大人
- 定員：20名
- 場所：創作アトリエ、ギャラリー、展示室
- 料金：500円＋観覧料
- 申込：電話受付(11/9(金)10:00から受付開始・先着順)
- 展示期間：12月1日(土)～1月14日(月・祝)
- ※作った作品は、展示終了後にお持ち帰りいただけます。
- 展示場所：ギャラリースペース



◆メリーボールでクリスマス!

1962年に岡本太郎が制作し、池袋に設置された「メリーボール」。クリスマスを彩るメリーボールをあなたもつくってみませんか!?

- 日時：12月16日(日)13:30～15:00
- 対象：小学生以上どなたでも(小学1、2年生は保護者同伴)
- 定員：20名
- 場所：創作アトリエ、展示室
- 料金：500円＋観覧料
- 申込：電話受付(11/28(水)10:00から受付開始)



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区併形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日
12月29日(土)～2019年1月3日(木)
<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
 TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <http://kawasaki-ac.jp/>
 【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
 お問い合わせ●川崎市アートセンター 044-955-0107



第67回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

漫談家としてデビュー、後に落語家へと転身した三遊亭若圓歌が「西行」を披露！
 平安時代から鎌倉時代にかけて活躍し、「新古今和歌集」や「小倉百人一首」などに多くの和歌が採録されている歌人・西行法師。歌人になる前は佐藤兵衛之丞則清と名乗る北面の武士であった。「西行」は佐藤兵衛之丞則清が絶世の美女に恋をする囁。

2018年12月22日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】三遊亭若圓歌、初音家左橋、柳家小んぶ、金原享乃・香

【チケット】一般2,000円、学生1,000円、小学生500円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

●プレミアムセット:4枚1組 6,000円 ●大旦那衆セット:10枚1組 12,000円 ※有効期限は2019年3月公演まで。払い戻し不可。



三遊亭若圓歌



初音家左橋

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

速報

しんゆりジャズスクエアvol.37

チェット・ベイカーを彷彿とさせるサウンドと歌声をもつヒロ川島が、チェットの名曲の数々を披露！

2019年1月25日(金) 19:00開演

※開場は開演の30分前

【出演者】ヒロ川島(tp&vo)、田辺充邦(g) ほか

【チケット】一般2,500円、2枚セット券4,500円、
4枚セット券8,500円(全席自由・税込)

※詳細はお問合せください。



ヒロ川島



田辺充邦

チケット取扱い

川崎市アートセンター [TEL] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)

※「しんゆりジャズスクエア」:

電話予約は〈エリアブレイク 044-954-9990(月~金、10:00~18:00)〉で取扱い。

セット券は電話予約と窓口でのみ取扱い。

※「しんゆり寄席」:学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。

セット券は窓口と電話予約のみ取扱い。

※年末年始休館 (12/29~1/3)

しんゆりシアター 劇団わが町第8回公演

みすゞ凛々 矢崎節夫「童謡詩人金子みすゞの生涯」による

【脚本・演出】ふじたあさや 【音楽】吉岡しげ美

幻の童謡詩人・金子みすゞの26年

みすゞを殺したのは時代だ

大正末期から昭和初期に活躍し、「私と小鳥と鈴と」「大漁」など、のびやかな世界観・柔らかい言葉使いにより、いまでも根強い人気を誇る金子みすゞ。幅広い世代に愛された彼女だったが、26歳で自ら命を絶った。

なぜみすゞは死を選んだのか?どんな生活がみすゞの詩の背景にあったのか?彼女を知る人々の証言から、彼女の在りし日の姿をうつします。さらに本作では吉岡しげ美の音楽に詩をのせ、みすゞの心のなかにあった広く美しい世界を表現する。

2019年2月9日(土)~11日(月・祝) ※詳細はお問合せください。



2017年12月「クリスマス・キャロル」撮影:関口淳吉

きょうかい し
教誨師

12.1(土)~12.14(金)

2018年|日本|カラー|スタンダード|ピスタ|1h54|DCP

監督・脚本:佐向大

出演:大杉漣、光石研、烏丸せつこ、古館寛治、玉置玲央

プロテスタントの牧師の佐伯は、半年前に着任したばかりの教誨師。月に2回拘置所を訪れ、一癖も二癖もある6人の死刑囚と面会する。彼らに寄り添いながらも、死刑囚たちが心安らかに最期を迎えられるように導くのは正しいことなのか、苦悩と葛藤を通して自らの人生と向き合うことになる。ほぼ全編が教誨室という限られた空間での会話劇。今年2月に急逝した大杉漣の最初のプロデュース作にして最後の主演作。



©「教誨師」members

アンナ・カレーニナ ヴロンスキーの物語

12.8(土)~12.21(金)

2017年|ロシア|カラー|ピスタ|2h18|DCP

製作・監督:カレン・シャフナザーロフ

出演:エリザヴェータ・ボヤルスカヤ、マクシム・マトヴェーエフ、ヴィタリー・キシチュエンコ

ロシアの文豪トルストイの「アンナ・カレーニナ」をベースに、巨匠カレン・シャフナザーロフ監督が日露戦争文学の要素を交えて描く。1904年、軍医のセルゲイは満州の戦地で、かつて母の愛人だった大佐のヴロンスキーと偶然出会う。許されない恋に溺れていった二人がたどる悲劇を、ヴロンスキーが語りだす。広大なロシアを舞台に、人生と愛の本質に迫る文芸大作。



©Mosfilm Cinema Concern, 2017

銃

12.8(土)~12.21(金)

2018年|日本|白黒(一部カラー)|ピスタ|1h37|DCP|R15+

監督:武正晴

出演:村上虹郎、広瀬アリス、日南響子、岡山天音、サヘル・ローズ、リリー・フランキー

芥川賞作家・中村文則のデビュー作を武正晴が映画化。雨が降りしきる河原で、思いがけず拳銃を拾った大学生のトオル。銃を手に入れたことでかつて体験したことのない自信に満たされ、全能感が彼の日常をあざやかに変えていくが、一人の刑事の訪問によりトオルは次第に追いつめられていく。村上虹郎が徐々に狂気が満ちていく主人公を熱演。



©吉本興業

フジコ・ヘミングの時間(アンコール上映)

12.15(土)~12.21(金)

2018年|日本|カラー|ピスタ|1h55|DCP

監督:小松莊一良

ナレーション:三浦透子

出演:フジコ・ヘミング、大月ウルフ

60代でデビューし、80歳を越えた今も世界中で活躍するフジコ・ヘミング。1999年にNHKの番組が大反響を呼びブームとなった後も、着実な歩みを続けた姿を、初公開のプライベートとともに描く傑作ドキュメンタリー。ラストの5分におよぶラ・カンパネラも圧巻。



©2018「フジコ・ヘミングの時間」フィルムパートナーズ

恋多き女 デジタル修復版(アンコール上映)

12.15(土)~12.21(金) ※12月末で国内の上映権が切れるため日本最終上映となります。

1956年|フランス|カラー|スタンダード|1h39|DCP

監督・原案・脚色・台詞:ジャン・ルノワール

共同脚色:ジャン・セルジュ

出演:イングリッド・バーグマン、ジャン・マレー、メル・ファーラー、ジャン・リシャール、ジュリエット・グレコ

『大いなる幻影』のジャン・ルノワール監督が、イングリッド・バーグマンを主演に撮った恋愛映画の名作。20世紀初めのフランスを舞台に、ポーランドからやってきた、美貌の公女エレナをとりまく恋愛騒動が、やがてフランスを揺るがす大事件に発展していく。美しい色彩と心躍る音楽に彩られた恋愛賛歌。



©1956 Gaumont - StudioCanal Image

ベルイマン生誕100年映画祭 Vol.2

スウェーデンが生んだ“20世紀最大の巨匠”イングマル・ベルイマン(1918-2007)。デジタル・リマスター版で蘇った厳選の傑作上映第2弾です。

第七の封印

12.23(日)祝、12.26(水)

1957年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h37|DCP

撮影:グンナル・フィッセル

出演:マックス・フォン・シドー、
グンナル・ビョーンストランド

ペストが蔓延し世界の終末に怯える中世ヨーロッパ。十字軍遠征からの帰途についた騎士が、死神に自らの命を賭けたチェスの勝負を挑む。人生の意味を探る哲学的寓話。



©1957 AB SVENSK FILMINDUSTRI

野いちご

12.22(土)、12.23(日)祝、
12.26(水)

1957年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h31|DCP

撮影:グンナル・フィッセル

出演:ヴィクトル・シェストレム、
イングリッド・チューリン

人間の老いや死、家族などをテーマに、車で旅する老医師の一日が夢や追想を織り交ぜながら語られる。青春時代の失恋を野いちごに託した叙情的な一編。



©1957 AB Svensk Filmindustri

魔術師

12.24(月)振休、12.26(水)

1958年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h39|DCP

撮影:グンナル・フィッセル

出演:マックス・フォン・シドー、
イングリッド・チューリン、
ベンクト・エーケロート

旅廻りのマジシャンの一座と、彼らの見世物のトリックを見破ろうとする役人たちの一夜のいたちごっこを描く。芸術家とショー・ビジネスの正体を問う。



©1957 AB SVENSK FILMINDUSTRI

処女の泉

12.22(土)、12.26(水)

1960年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h29|DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:マックス・フォン・シドー、
ビルギッタ・ヴァルベルイ

可憐な少女を襲う悲劇と父親の痛烈な復讐を、北欧の清らかな光と影のコントラストで描きだす。黒澤明の『羅生門』に影響され誕生した作品で、数々の国際的な賞に輝くベルイマンの代表作。



©1960 AB Svensk Filmindustri

鏡の中にある如く

12.22(土)、12.27(木)

1961年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h29|DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:グンナル・ビョーンストランド、
マックス・フォン・シドー、
ハリエット・アンデション、
ラルス・パスガルド

夏の孤島にやってきた4人の家族の葛藤を描く。神の前提なしでいかに愛を証明するか、その途方もない模索が始まる。『神の沈黙』三部作の第一作。



©1957 AB SVENSK FILMINDUSTRI

冬の光

12.22(土)、12.24(月)振休、
12.27(木)

1963年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h22|DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:グンナル・ビョーンストランド、
マックス・フォン・シドー

主人公の牧師の苦悩を通し、「神の不在」を宣言し描き出す『神の沈黙』三部作の二作目。自伝的要素が色濃く反映したベルイマン入魂の作品。



©1963 AB Svensk Filmindustri

沈黙

12.23(日)祝、12.27(木)

1963年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h36|DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:イングリッド・チューリン、
グンネル・リンドプロム

言葉が全く通じない国に来てしまった翻訳家の姉と奔放な妹、そして妹の息子。お互いに唯一の話し相手であるはずの姉妹は嫌い合っていた…。『神の沈黙』三部作の完結篇。



©1963 AB SVENSK FILMINDUSTRI

仮面／ペルソナ

12.23(日)祝、12.24(月)振休、
12.27(木)

1966年|スウェーデン|白黒|スタンダード|

1h22|DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:ビビ・アンデション、リヴィ・ウルマン

失語症に陥ったスター女優と、彼女を看病することになった看護婦。海辺の別荘でふたりだけで生活していくうちに、お互いの自意識の仮面が剥がされ、溶け合い、交錯していく…。



©1966 AB Svensk Filmindustri

〈お知らせ〉12月28日(金)は設備点検のため休映いたします。また、年末年始休館は12月29日(土)～1月3日(木)までとなります。

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

◆各種割引《お一人様1000円!》

●木曜日はメンズデー ●金曜日はレディースデー ●夫婦50割

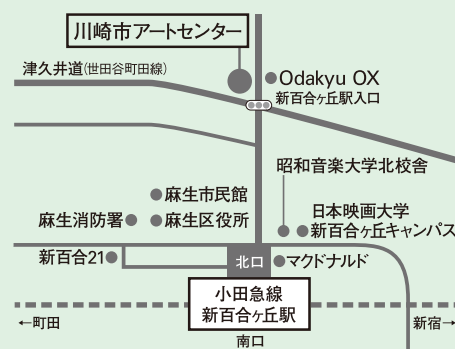
◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引:1名様まで、一般料金1800円～1300円の作品は一律1200円に割引!

ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月

第三火曜日
のお楽しみ
2018

ラゾーナ寄席

第78回

2018年

12月18日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…桂歌若・桂米多朗・瀧川鯉斗・三遊亭馬ん次(ばんじ)

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



桂歌若

狂

言

を 楽 し も う

野村万蔵による 芸能サロン

2019年1月19日(土)

14:00開演(13:30開場)

会場: 川崎能楽堂

料金: 3,000円(全席指定)

狂言のお話 野村万蔵

狂言「雷」能村晶人

狂言「入間川」野村万蔵

[チケット発売] 2018年12月12日(水) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)

*残券がある場合は、発売日正午より電話・ホームページでも販売いたします。窓口完売の際は電話・ホームページでの受付はいたしません。

[チケット取扱・お問合わせ] 川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

川崎市文化財団HP <http://www.kbz.or.jp/event/noh/20190119/>

[受付時間] 窓口・電話 9:00~17:00

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

主催 ●公益財団法人川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 / FAX.044-544-9647



公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647 <http://www.kbz.or.jp>

平成30年12月1日発行

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。